

令和5年度

# 前期学校評価書

令和5年9月8日(金)



体育: 向陽こども園さんと水遊び (7月: 1年生)



生活科: 町探検で日景石油を訪問(6月: 2年生)



総合: 渋谷区神南小学校とのオンライン交流(7月: 3年生)



カヌーに挑戦! 宿泊体感学習 I (6月: 4年生)



鳳凰山登頂 宿泊体感学習 II (6月: 5年生)



地引き網体験 宿泊体感学習 III (7月: 6年生)

大館市立釈迦内小学校

学校評価 Aと学校関係者評価 の評価区分	きわめて良好	学校評価日の 評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

### I 学校運営と保護者・地域との連携

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
確かな組織運営を基盤として、学校の取組が保護者によく伝えられ、家庭や地域の方々の協力を得た活動が効果的に行われている。	前期	おおむね良好	学校報やHP、緊急メール等を活用して学校の様子を発信していることが、保護者にとっては学校生活の把握につながり、一定の評価を得られている。児童数減少に伴って教員数も減り、ひまわり活動を始め各活動に教員の参加が難しくなっている現状を、保護者や地域に発信し、理解と協力を求めるべきである。緊急を要する修繕を学校長判断で行えないのが現状であるが、児童の安全を保障するために何らかの手立てを講じたい。
	年度		
学校の改善策の概要と学	<p>【前期(一年度)】1(2)に関して→老朽化に伴い、トイレ各所でタイルの剥がれ落ち、または浮きがあり危険な状況であった。テープで留めるなどの簡易修繕でしのいできたが、今年度は業者による修繕を行うことができた。昇降口のサッシや錠前の修繕はこれまでも要望を続けてきたが未だ実現できていない。管理上の問題があるため、早急な対応を求めている。昨年度は本郷会から2台、今年度は市から4台と、合わせて6台の電子黒板を導入できた。各学年に行き渡り、ICT環境の充実が図られた。2(4)に関して→クラブ活動の講師や学習支援、環境整備など、地域の方々にたくさん協力をいただいた。今後も継続していくと共に、PTAの協力、活性化も図っていきたい。2(5)に関して→ひまわり活動や学習など、1年生とこども園、保育園の年長児との交流を行ってきた。保育園参観や本校職員による保育体験など、児童や園児だけでなく職員同士の交流も行うことができ、スムーズな幼保小の接続につながっている。</p> <p>【年度(一次年度)】</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
1 校内運営組織の機能化	(1) 職員会議、指導部会、学年主任会の計画的な運営	定期的な職員会議、指導部会、学年主任会、学団部会、各種委員会の開催	3	
	(2) 教育活動に生きる事務運営と施設設備の管理	学年・学級会計事務の効率化、教材備品の計画的購入、定期的な施設設備の点検と補修		
2 学校や子どもの情報の受発信、地域の教育力の活用	(3) 家庭への定期的・効果的な情報発信	・PTAでの講話、学年、学校だよりの発行 ・ホームページ、ブログでの発信 ・諸行事の案内	3	
	(4) 関係諸団体との連携強化と教育力の活用	子どもを育てる会や民生委員の会等関係機関との情報交換、地域学校協働本部等での積極的な人材、施設活用		
	(5) 幼・保・小・中との連携	・運動会、ひまわり活動、田植え作業等での交流 ・授業参観、保育参観、連携研究会の実施		

#### ○児童 □保護者 ■教職員

##### [1(2)教育活動に生きる事務運営と施設設備の管理に関すること]

###### ・今年度、修繕した箇所、設置された備品関係

- ①トイレ壁補修
- ②トイレ各箇所洋式便座設置
- ③電子黒板4台
- ・次年度への要望
- ①児童昇降口サッシ枠修繕、錠前交換
- ②体育館連絡通路の天井修繕(雨漏り防止)

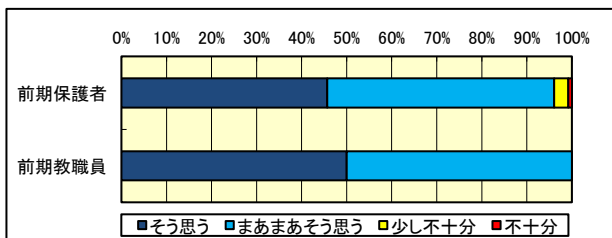
##### トイレ壁補修



トイレタイルの剥がれ落ちを撤去し、その後モルタル塗装を行って補強を行い、安全に使用できるようになった。

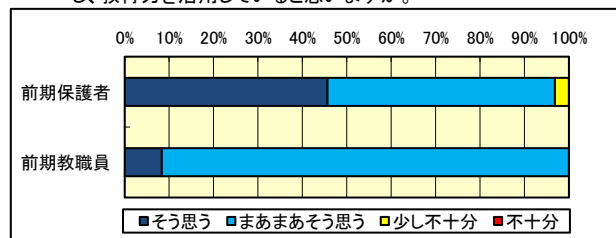
##### [2(3)家庭への定期的・効果的な情報発信に関するデータ]

- 学校報、学年だより、学校ブログなどは学校や子どもたちの様子をわかりやすく伝えたいと思いますか。
- 家庭へ定期的・効果的な情報発信を行っていますか。



##### [2(4)関係諸団体との連携強化と教育力の活用に関するデータ]

- 学校は、PTA活動や行事、各教科の学習、クラブ活動などで、保護者や地域の教育力を活用していると思いますか。
- PTA活動や行事、各教科等で、保護者や地域、関係諸団体と連携し、教育力を活用していると思いますか。



##### 幼・保・小・中との連携



架け橋プログラム  
小学校教員による保育士体験



読み聞かせ(おはなしの森)



地域人材、教育力の活用  
水泳外部指導者



本の整理(釈迦内婦人会)

学校評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

## II 特色ある学校づくり

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント	
ひまわり活動を核としたふるさとキャリア教育で児童のアイデアを生かした地域活性化が行われている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	ひまわり活動の存在が大きいだけに、児童にどこまで求めるべきなのは教員の中でも悩むところではあると思うが、昨年度よりも主体的な活動に結び付けたことで、教育効果が高まっている。また、異学年・地域交流効果も絶大である。今後は職員、地域の方との共通理解のもと、前向きに挑戦しようとする子の育成に努めて欲しい。計画の見直しも大切だが、職員の異動も考慮して活動が継続していくよう確実に引継ぎを行って欲しい。
	年度			
改善学校評価の概要と学校の	<p>【前期(一年度)】3(6)に関して→昨年度作成した、「ひまわり活動の年間計画」と「ふるさとキャリア教育年間指導計画」を活用し今年度の活動を進めてきた。「ふるさとキャリア教育年間指導計画」については、前半の振り返りと後半へ向けての計画の見直しを行った。今後は、感謝祭や販売活動など他者との関わりを通して一人一人の良さを積極的に認め、児童の活躍の場を広げられるよう活動を進めていく予定である。3(7)(8)に関して→「ひまわりで駅近内にパワーを！」という目標に向かって、前半も児童の思いを生かして様々な活動に取り組んだ。秋田大学の皆さんと一緒に種植えをしたり、その後秋田大学へ出かけ向こうでも種植えをしたりした。また、8月上旬に「ひまわりウィーク」を設け、ひまわり畑にフオスポット用の顔出し看板を作り、立ち寄った人たちに楽しんでもらった。地域の方や異学年との交流を通して、助け合ったり、感謝の気持ちをもったりする姿が見られる。2学期に予定されているひまわり感謝祭を通して、感謝の気持ちを伝える機会を設けるとともに、各学年の活動を頑張ってくれたと思うような充実感をもたせ、前向きに挑戦しようとする子の育成につなげたい。</p>			

	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
3 ふるさとつながるひまわり活動	(6) 特色ある教育課程の編成と実施	・付けたい力を明確にしたふるさとキャリア教育の推進 ・各教科等と関連させたカリキュラムマネジメント	3	
	(7) なりたい自分をイメージできる活動	・異学年、地域の人、保護者との交流 ・他者との交流を、なりたい自分のイメージにつなげる振り返り(短作文)	3	
	(8) 前向きに挑戦する心を育む活動	・児童の発想や願い、問いを生かした児童主体のひまわり活動 ・生活科・総合的な学習に位置付けた各学年でのひまわりプロジェクト		

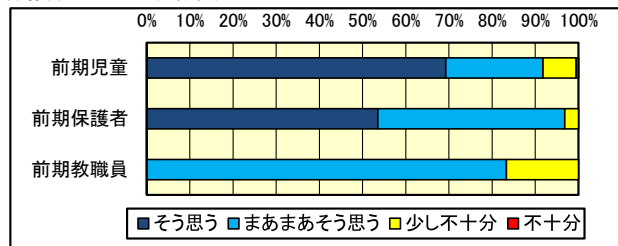
### ○児童 □保護者 ■教職員

#### [3(6)特色ある教育課程の編成と実施に関するデータ]

○ひまわり活動を通して、友達や地域の人、周りの人々の良さを発見することができましたか。

□学校は、児童の発想や願い、問いを生かして、児童主体のひまわり活動を行うことができていると思いますか。

■付けたい力を明確にして、各教科やキャリア教育と連携したふるさとキャリア教育を行うことができていると思いますか。

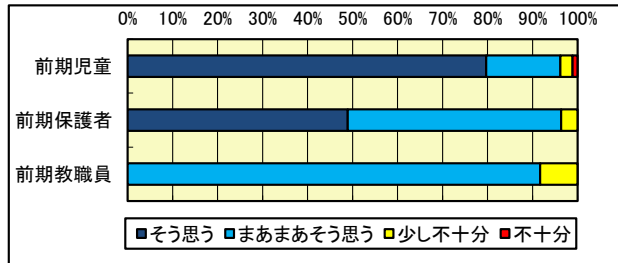


#### [3(7)(8)前向きに挑戦する心を育む活動に関するデータ]

○ひまわりを育てる活動や各学年の活動に進んで取り組むことができましたか。

□学校は、異学年や保護者、地域の方々との交流を通して、児童に自分を成長させようという気持ちや、協力してくれる方々への感謝の気持ちを育むことができていると思いますか。

■児童の発想や願い、問いを生かして、ひまわり活動や、生活科・総合的な学習の時間に位置付けた各学年の活動を行うことができていると思いますか。また、異学年・地域の人・保護者との交流を、なりたい自分のイメージにつなげることができていると思いますか。



#### 一戸一ひまわり運動



#### 種植え活動



秋田大学のみなさんと一緒

#### かかしづくり教室



学校評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好	学校評価日の評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

### Ⅲ 児童の自主的・創造的な生活づくりと安心して生活・学習できる基盤づくり

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
「なりたい自分に向かって挑戦しよう。」を合い言葉に、生徒指導の機能を生かした学級経営や特別活動を通して自己有用感や自己肯定感の向上を図っている。	前期	おおむね良好	昨年、児童総会や代表委員会の中で、子どもたちが自分たちの課題について解決策を話し合った経験が、確実に成果として表れている。一方で活動や目標が盛りだくさんなために、こなすだけで精一杯との声もあり、焦点を絞って取り組むことも必要かと思う。
	年度		

【前期(一年度)】4(9)について→「さくらんジャーの合い言葉」を設定し、2年目となる。児童にも合い言葉が定着してきており、昨年度よりも、「とてもよい」という回答が児童、保護者ともに増えた。今後も、日常の指導を大切にしながら、さらに基本的な生活習慣の定着を図りたい。また、低学年で言葉遣いがよくないという声が聞こえてきているので、言葉遣いに関する指導に力を入れていきたい。4(10)4(12)について→友達のよさを伝えるカード(B・Bカード)を1学期は2回実施し、全校に放送で紹介した。児童もだんだんとカードを書くことに慣れ、「もっと書きたい」「放送が楽しみ」という児童が増えてきた。今後は、異学年や地域の方など、視野を広げてありがたい気持ちを伝えられるようにしていきたい。4(11)について→今年度は、全校朝会を毎月実施しており、各委員会から全校に向けて話す機会を設けるようにしたり、司会進行を代表委員会で行ったりしている。1学期は、図書委員会から読書強調月間のお知らせや環境・ボランティア委員会からアルミ缶・ペットボトル回収強調週間の協力や実施報告などの情報発信を行った。今後も、他の委員会などから情報発信を行い、特別活動の充実を目指していく。

【年度(一年度)】

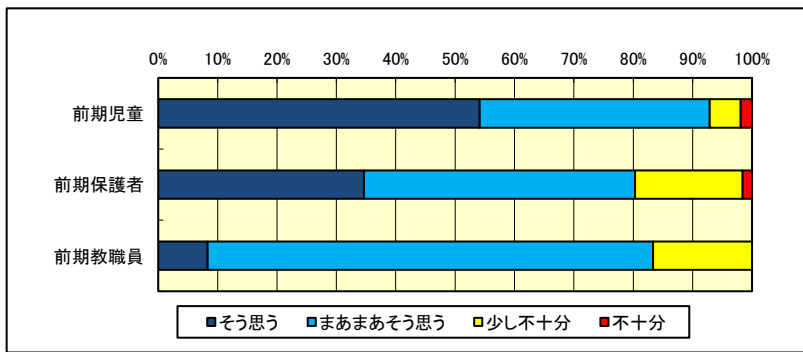
評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
4 思いやりの心や規範意識を大切にしたい楽しい学校づくり	(9) 「意識化-見取り-称揚-定着」のサイクルを徹底した生活習慣づくり	・生活のきまり「さくらんジャーの合言葉」による基本的な生活習慣の指導 ・日常の言葉遣い指導	3	
	(10) 美しい心を育むあいさつ運動・自他のよさを見付ける活動	・あいさつ運動の工夫(上学年を見本としたベア学年でのあいさつ運動) ・「こっりの日(毎月25日)によるありがとう貯金(B・Bカード)、いいとこみつけ活動の奨励		
	(11) 楽しい学校づくりに向けて進んで取り組む児童会活動や縦割り班活動	・委員会活動、全校朝会、代表委員会、児童総会等による児童の自発的、自治的な活動の助長 ・いいの日(毎月17日)の縦割り班遊びの奨励		
5 安心して過ごすことができる学級・学年経営	(12) 自己有用感のもてる学年・学級経営	・先生と話そう期間の設定 ・問題行動などの早期解決 ・日常の教育相談活動等 ・一日一声一触の実施	4	
	(13) 安全・安心の基盤となる学びの環境づくり	・学校安全日 ・朝の交通安全指導 ・避難訓練 ・交通安全教室の実施		

#### ○児童 □保護者 ■教職員

#### 【4 思いやりの心や規範意識を大切にしたい楽しい学校づくり に関するデータ】

(9)(10)「釈迦内小のやくそく」

- 「さくらんジャーの合言葉」を意識して、校内のルールや、交通安全のルールを守ることができましたか。
- 元気なあいさつや返事をしたり、言葉づかいに気を付けたりすることができましたか。
- 子どもたちに学校生活や交通安全についての指導を徹底していますが、元気なあいさつや返事、ルールを守ろうとする気持ちが身に付いているか
- 「さくらんジャーの合い言葉」による基本的な生活習慣の指導・日常の言葉遣い指導は十分にできているか。

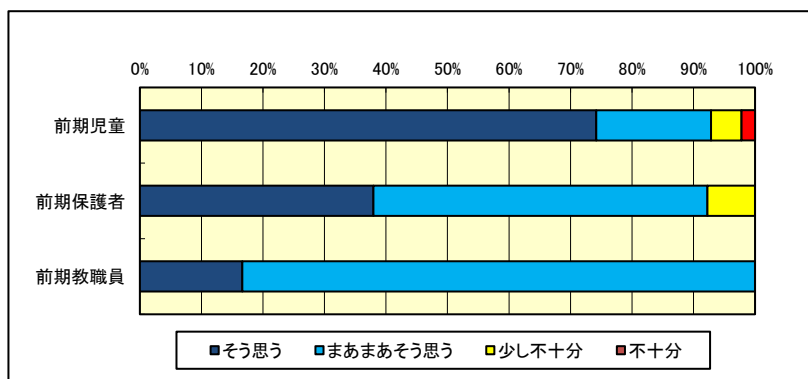


#### 【全校朝会 委員会からのお知らせ】

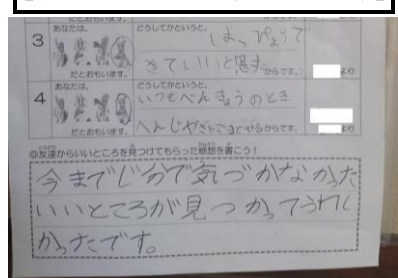


#### 【5 安心して過ごすことができる学級・学年経営 に関するデータ】

- 「いいとこみつけカード」や「B・Bカード」を通して、自分や友だちのよいところを見付けたり、周りの人たちに「ありがとう」の気持ちを伝えたりすることができた。
- 友達の優しさやよさ、がんばりを放送で紹介したり、カードで伝えたりしていますが、子どもたちには思いやりの気持ちが育まれているか。
- 先生と話そう期間や問題行動などの早期発見・対応、交通安全指導など、安全・安心な学校づくりへの取組は十分にできているか。



#### 【友達のいいところを見付ける活動】



学校評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

#### IV 健康的な生活習慣の確立と体力の向上

児童生徒の状況	学校評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
より健康的な生活のために生活習慣を見直し、運動に進んで取り組み、体力の向上を図っている。	前期	おおむね良好	酷暑の中の活動でも熱中症にならない体力と気力が備わっている。子どもたちから歌詞を集め、歯磨きの意識向上につなげる取組が素晴らしい。マラソン運動や体育行事において、学校長を先頭に子どもたちのやる気を引き出す作戦が素晴らしい。
	年度	おおむね良好	

の学校改善評価の概要と学校

【前期(→年度)】  
6(14)(15)について一前期は虫歯予防に重点的に取り組んだ。全校児童の協力を得ながらオリジナルの虫歯予防ソングを作成し、そのCDを歯磨きタイムで流すことで、丁寧な歯磨きをする児童が増えてきた。後期は大館市一斉のメディアコントロール週間がある。メディアコントロールは今後も大きな課題になるため、メディアとの適切な関わり方について考える機会にしたい。7(16)(17)についてマラソンがんばりカードの活用に加え、子どもたちに馴染みのある音楽を流すようにした結果、子どもたちの自主的に体力作りに取り組もうとする意識が高まった。また、個人目標を立てるだけでなく、学級で目標を立てて取り組むクラスもあり、集団力を高めるという観点からもよい取り組みになった。後期はなわとび運動の実施によって、さらに児童に対する意識を高め、体力向上を図りたい。

【年度(→次年度)】

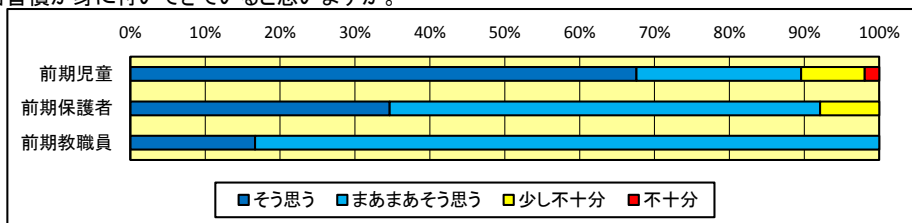
評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
6 健康的な生活習慣づくり	(14) 健康的・衛生的な生活の習慣化	健康状態の把握及び指導(歯磨き、手洗い、メディアコントロール指導など) 清掃指導	3	
	(15) 栄養バランスのとれた食習慣の定着、食に対する意識の高揚	食育指導、栄養教諭とのTT		
7 体力づくり	(16) 継続的な体力づくりと新体カテストの実施・活用	体育指導の充実と改善、マラソン、なわとびタイムの実施 データ分析と各学年の重点強化	3	
	(17) 体育行事の充実	目標を持たせた事前事後指導		

○児童 □保護者 ■教職員

#### 【6(14)(15)健康的な生活習慣に関するデータ】

○歯みがき、手洗い、ハンカチの持ち歩きに気を付けて生活できましたか。給食をすききらいせずに食べようと思えましたか。

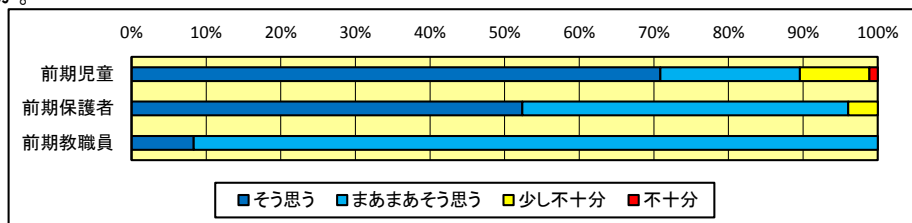
□■栄養教諭による食育指導や、児童委員会による熱中症予防、虫歯予防などを実施していますが、子どもたちには、健康的な生活習慣が身に付いてきていると思いますか。



#### 【7(16)(17)体力づくりに関するデータ】

○マラソンや外遊びなど進んで体づくりをすることができましたか。

□■体力向上のためにマラソンタイムの実施や外遊びの奨励をしていますが、子どもたちは進んで運動し、体を鍛えようとしていますか。



食育指導(1年生)



マラソン運動



学校評価Aと学校関係者評価の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

### V 自ら考え、学び合う授業づくりと確かな学力の定着

児童生徒の状況	自己評価A	外部評価	外部評価委員のコメント
子どもたちが共感的・協動的に学び合う学び合う授業づくりを行っている。	前期	おおむね良好	婦人会の協力を得て図書室の環境整備ができた。本に触れ合う環境が整ったので、効果を期待したい。また、学年毎の学習の手引きの作成に、教員の努力が見える。管理職が家庭学習ノートを見て励ましの声を掛けるなど、学校全体で児童と向き合う姿勢が素晴らしいと思う。
	年度		

**改善校評価の概要と学校の**

【前期(一年度)】8(18)に関して一学年毎に「家庭学習の手引き」を作成して、学年に応じた内容の指導をし、PTAに合わせたノート展を実施して家庭への啓発を図っている。今年度は、校長先生や教頭先生が家庭学習ノートを見て励ましの声かけをしており、児童は担任以外の先生からも褒められる機会が増え、家庭学習への意欲や継続にもつながっている。8(19)に関して→朝・昼2回の読書タイムでじっくりと本に向き合う児童が増え、6月の読書強調月間では、目標冊数やページ数を達成できた児童が多かった。夏休みには、婦人会の協力を得て、古い本を廃棄するなど整備をした。図書室内でじっくりと本を読める場所を設けたり少しずつ新刊図書を購入したりして、利用しやすい環境を整えていきたい。9(20)に関して→授業の中で、どんな力を身に付けさせたいかを明確にし、個の時間やグループ活動を設定することで、自信をもって学習に向かう様子が見られてきている。学力向上の面では、日々の授業の中で、習熟の時間を確保しながら、学習内容の確実な定着を図っていけるように、授業構成も工夫していきたい。

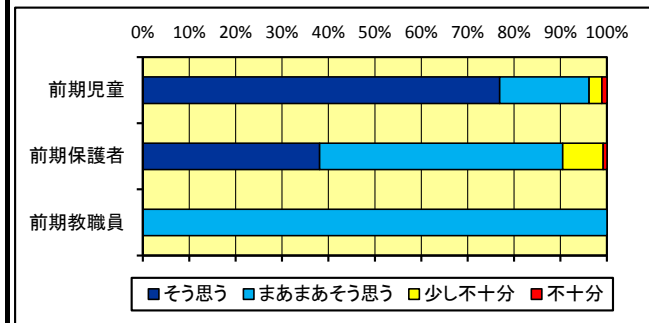
【年度(一次年度)】

評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
8 基本的学習習慣の形成	(18) 基本的な学習習慣の定着	・「学習のやくそく」に基づいた基本的な学習習慣の徹底 ・「学び合いの表現」の活用 ・「家庭学習の手引き」の作成 ・主体的な家庭学習の奨励 ・「お宝Myノート」の紹介	3	
	(19) 読書活動の充実	・図書の活用 ・週末読書 ・読み聞かせなど		
9 確かな学力	(20) 学び合い、生き生きと表現する授業づくり	・身に付けたい力を明確にした授業構想 ・ねらいに応じた学習形態の工夫 ・考えの共有、追究の場の設定(ひまわりタイム) ・学びの価値付けと自己肯定感の醸成 ・次時につなげる振り返りの充実	3	
	(21) 基礎学力・語彙力を高める場の設定と諸検査の活用	・短作文コーナー等の設置・全校漢字計算テストの実施による基礎的学習内容の習熟・各種検査の分析と回復指導		

#### 【8(18)学習習慣の形成のデータ】

##### 基本的学習習慣の形成

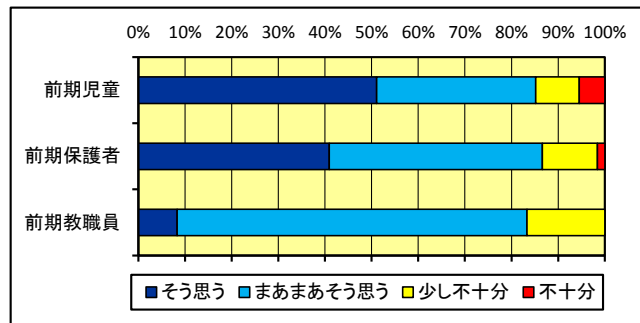
○家庭学習(一人勉強・宿題)を続けて学習することができましたか。  
 ■学校は、ノート展の実施や「家庭学習の手引き」を活用し、学力の仕方を指導していますが、子どもたちは、学習する習慣が身に付いていると思いますか。



#### 【8(19)読書活動の充実のデータ】

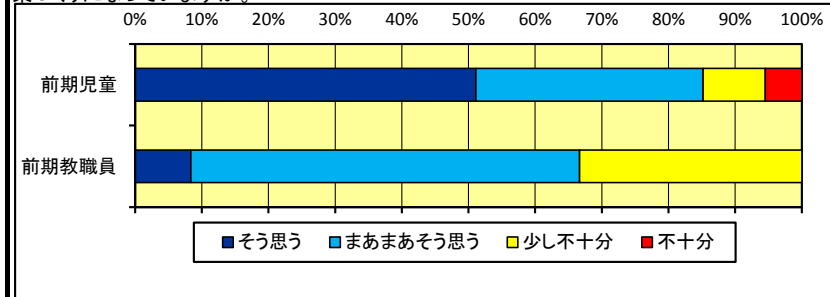
##### 読書の奨励

○図書館を利用したり、進んで読書をしたりができましたか。  
 ■学校は、読書を奨励するため、朝や昼の読書タイムや月一回のおうちで読書、読み聞かせボランティアの活用などの取組をしていますが、子どもたちの読書への関心は高まってきていると思いますか。



#### 【9(20)確かな学力に関わることのデータ】

○自分の考えを伝えたり、友達のことを聞いたりして、学び合うことができましたか。  
 ■研究部や学習部の計画のもと、日々の授業や研究授業で学び合い、生き生きと表現する授業づくりになっていますか。



【2年生算数での授業の様子】

令和5年度 学校評価一覧

大館ふるさとキャリア教育(ふるさとを担う「未来大館市民」の育成)

学校教育目標 ～桜三心 向陽三行～ 美しい心と たくましい実践力のある 子どもの育成 重点 なりたい自分に向かって 前向きに挑戦する子ども 2023 合言葉「元氣なあいさつ」

人間 的 基 礎 力 ・ 大 館 市 民 基 礎 力 ・ 大 館 市 民 実 践 力 の 育 成	評価項目		自己評価A (上段:前期) (下段:年度)	学校関係者評価 (上段:前期) (下段:年度)	評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B (前期)	自己評価B (年度)		
	I	学校運営と保護者・ 地域との連携  (教頭・事務)	確かな組織運営を基盤として、 学校の取組が保護者によく伝 えられ、家庭や地域の方々の 協力を得た活動が効果的に行 われている。	おおむね 良好	おおむね 良好	1 校内運営組織の機能化	(1) 職員会議、指導部会、学年主任会の計画的な運営 (2) 教育活動に生きる事務運営と施設設備の管理	・定期的な職員会議、指導部会、学年主任会、学団部会、各種委員会の開催 ・学年・学級会計事務の効率化・教材備品の計画的購入 ・定期的な施設設備の点検と補修	3	3	
2 学校や子どもの情報の受発信、 地域の教育力の活用						(3) 家庭への定期的・効果的な情報発信、学校公開日 の実施 (4) 関係諸団体との連携強化と教育力の活用 (5) 幼・保・小・中との連携	・PTAでの講話、学年、学校だよりの発行 ・ホームページ、ブログでの発信 ・諸行事の案内 ・子どもを育てる会や民生委員の会等関係機関との情報交換 ・地域学校協働本部等での積極的な人材、施設活用 ・運動会、ひまわり活動、田植え作業等での交流 ・授業参観、保育参観、連携研究会の実施	3			3
特色ある学校づくり  (教務・ひまわりPT)		ひまわり活動を核としたふるさと キャリア教育で児童のアイ ディアを生かした地域活性化が 行われている。	おおむね 良好	おおむね 良好	3 ふるさととつながるひまわり活動	(6) 特色ある教育課程の編成と実施 (7) なりたい自分をイメージできる活動 (8) 前向きに挑戦する心を育む活動	・付けたい力を明確にしたふるさとキャリア教育の推進 ・各教科等と関連させたカリキュラムマネジメント ・異学年、地域の人、保護者との交流 ・他者との交流を、なりたい自分のイメージにつなげる振り返り(短作文) ・児童の発想や願い、問いを生かしたひまわり活動 ・生活科・総合的な学習に位置付けた各学年でのひまわりプロジェクト		3	3	
					児童の自主的・創造 的な生活づくりと安 心して生活・学習で きる基盤づくり  (生活指導部)	「なりたい自分に向かって前向 きに挑戦」を合い言葉に、生徒 指導の機能を生かした学級経 営や特別活動を通して自己有 用感や自己肯定感の向上を 図っている。	おおむね 良好	おおむね 良好			4 思いやりの心や規範意識を 大切にしたい学校づくり
5 安心して過ごすことができる 学級・学年経営		(12) 自己有用感もてる学年・学級経営 (13) 安全・安心の基盤となる学びの環境づくり	・先生と話そう期間の設定・問題行動などの早期解決・日常的教育相談活動 ・一日一声一触れの実施 ・学校安全日・朝の交通安全指導・避難訓練・交通安全教室の実施	4					4		
健康的な生活習慣 の確立と体力の向 上  (保健体育指導部)		より健康的な生活のために生 活習慣を見直し、運動に進んで 取り組み、体力の向上を図って いる。	おおむね 良好							おおむね 良好	6 健康的な生活習慣づくり
					7 体力づくり	(16) 継続的な体力づくりと新体力テストの実施・活用 (17) 体育行事の充実	・体育指導の充実と改善、マラソン、なわとびタイムの実施・データ分析と各学年の重点強化 ・目標を持たせた事前事後指導	3			3
自ら考え、学び合う 授業づくりと確かな 学力の定着  (学習指導部・研究)		子どもたちが共感的・協働的に 学び合う授業づくりを行って いる。	おおむね 良好	おおむね 良好	8 基本的学習習慣 の形成	(18) 基本的な学習習慣の定着 (19) 読書活動の充実	・「学習のやくそく」に基づいた基本的な学習習慣の徹底・「学び合いの表現」の活用 ・「家庭学習の手引き」の作成・主体的な家庭学習の奨励・「お宝Myノート」の紹介 ・図書を活用・週末読書・読み聞かせなど		3	3	
					9 確かな学力	(20) 主体的に学び、生き生きと表現する授業づくり (21) 基礎学力・語彙力を高める場の設定と諸検査の活 用	・身に付けたい力を明確にした授業構想・ねらいに応じた学習形態の工夫 ・考えの共有、追究の場の設定(ひまわりタイム)・学びの価値付けと自己肯定感の醸成 ・次時につなげる振り返りの充実 ・短作文コーナー等の設置 ・全校漢字計算テストの実施による基礎的学習内容の習熟 ・各種検査の分析と回復指導	3			3